

くまもと型伝統構法を用いた木造建築物設計指針・同解説 正誤表

ページ	箇所	改正前	改正後																																																																																																																																
目次	解説編 第2章	くまもと型伝統構法を用いた木造建築物の設計指針・同解説	くまもと型伝統構法を用いた木造建築物設計指針・同解説																																																																																																																																
3 161	1.3軸組の形式(2)②	<u>柱脚の浮き上がりがないこと。</u>	<u>転倒しないこと。</u>																																																																																																																																
5 170	3.2構造階高 (1) 1階の構造階高	1階の構造階高は、 <u>基礎の天端</u> から1階躯体の桁・梁の上端と下端の中心までの高さによる。	1階の構造階高は、 <u>足固めの上端と下端の中心</u> から1階躯体の桁・梁の上端と下端の中心までの高さによる。																																																																																																																																
6 177	3.5水平剛性の確保 (1)床、 (2)小屋組の2か所	同等以上の <u>耐力</u> を有する仕様とする	同等以上の <u>剛性</u> を有する仕様とする																																																																																																																																
7 183	4.1柱(3)	「 <u>1.3架構形式</u> 」	「 <u>1.2(1)2部材寸法②通し柱</u> 」																																																																																																																																
14	本文	採用する仕様が <u>下記</u> にない場合は「2.固定荷重表(材料)」をもとに作成することができる。ただし、 <u>下記</u> の条件の場合は別途検討が必要であ	採用する仕様が <u>表</u> にない場合は「2.固定荷重表(材料)」をもとに作成することができる。ただし、 <u>下表</u> の条件の場合は別途検討が必要であ																																																																																																																																
14	2つ目の表のH2の右欄	■III床+ <u>+</u> ■VI内壁(2階下半分)+■VI内壁(1階上半分)+■IX積載荷	■III床+ <u>—</u> ■VI内壁(2階下半分)+■VI内壁(1階上半分)+■IX積載																																																																																																																																
14	2つ目の表のZ2、Z1の中欄	小屋裏収納 <u>や</u> 太陽光発電 <u>_____</u> など	小屋裏収納、 <u>太陽光発電、軒天、屋外の梁組</u> など																																																																																																																																
16	4つ目の※	階高を2.7mとする。 <u>Dの係数は</u> $D=B \times 2.7m/2$	階高を2.7mとする。 <u>_____</u> $D=B \times 2.7m/2$																																																																																																																																
18	VI-1内壁の2つ目の※	階高を2.7mとする。 <u>Dの係数は</u> $D=B \times 2.7m/2$	階高を2.7mとする。 <u>_____</u> $D=B \times 2.7m/2$																																																																																																																																
18	VI-2内壁(勾配天井の場合)の2つ目の※	階高を2.7mとする。 <u>Dの係数は</u> $B=A \times (2.7m/2+1.05)$	階高を2.7mとする。 <u>_____</u> $B=A \times (2.7m/2+1.05)$																																																																																																																																
18	VII 附属物	<p>■ VII 附属物</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>詳細</th> <th>床</th> <th>梁追加</th> <th>積載</th> <th>壁</th> <th>合計</th> <th>計算 N/㎡</th> <th>スパン N/㎡</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 太陽光発電 30㎡(3kW)~40㎡(5kW)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>250</td> <td>250</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 吹き抜け(4㎡以上)</td> <td></td> <td>270</td> <td></td> <td></td> <td>270</td> <td>270</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 ロフト:床板30mm+梁追加+積載荷重+壁</td> <td>120</td> <td>50</td> <td>400</td> <td>50</td> <td>620</td> <td>620</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 太陽熱温水器(一般的に4~5㎡)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1000</td> <td>1000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ ロフトは平均天井高さ1400mmを想定 ※ ロフト積載荷重は1400mm/2100mm×600(平均天井高/高さ×地震用積載荷重)</p>	詳細	床	梁追加	積載	壁	合計	計算 N/㎡	スパン N/㎡	1 太陽光発電 30㎡(3kW)~40㎡(5kW)					250	250		2 吹き抜け(4㎡以上)		270			270	270		3 ロフト:床板30mm+梁追加+積載荷重+壁	120	50	400	50	620	620		4 太陽熱温水器(一般的に4~5㎡)					1000	1000		5								<p>■ VII 附属物</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>詳細</th> <th>床</th> <th>梁追加</th> <th>積載</th> <th>壁</th> <th>下地</th> <th>軒天</th> <th>合計</th> <th>計算 N/㎡</th> <th>スパン N/㎡</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 太陽光発電 30㎡(3kW)~40㎡(5kW)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>250</td> <td>250</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 吹き抜け(4㎡以上)</td> <td></td> <td>270</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>270</td> <td>270</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 ロフト:床板30mm+梁追加+積載荷重+壁</td> <td>120</td> <td>50</td> <td>400</td> <td>50</td> <td></td> <td></td> <td>620</td> <td>620</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 太陽熱温水器(一般的に4~5㎡)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1000</td> <td>1000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 軒天</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>50</td> <td>50</td> <td>110</td> <td>110</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 屋外の梁組</td> <td></td> <td>270</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>270</td> <td>270</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ ロフトは平均天井高さ1400mmを想定 ※ ロフト積載荷重は1400mm/2100mm×600(平均天井高/高さ×地震用積載荷重)</p>	詳細	床	梁追加	積載	壁	下地	軒天	合計	計算 N/㎡	スパン N/㎡	1 太陽光発電 30㎡(3kW)~40㎡(5kW)							250	250		2 吹き抜け(4㎡以上)		270					270	270		3 ロフト:床板30mm+梁追加+積載荷重+壁	120	50	400	50			620	620		4 太陽熱温水器(一般的に4~5㎡)							1000	1000		5 軒天					50	50	110	110		6 屋外の梁組		270					270	270		7									
詳細	床	梁追加	積載	壁	合計	計算 N/㎡	スパン N/㎡																																																																																																																												
1 太陽光発電 30㎡(3kW)~40㎡(5kW)					250	250																																																																																																																													
2 吹き抜け(4㎡以上)		270			270	270																																																																																																																													
3 ロフト:床板30mm+梁追加+積載荷重+壁	120	50	400	50	620	620																																																																																																																													
4 太陽熱温水器(一般的に4~5㎡)					1000	1000																																																																																																																													
5																																																																																																																																			
詳細	床	梁追加	積載	壁	下地	軒天	合計	計算 N/㎡	スパン N/㎡																																																																																																																										
1 太陽光発電 30㎡(3kW)~40㎡(5kW)							250	250																																																																																																																											
2 吹き抜け(4㎡以上)		270					270	270																																																																																																																											
3 ロフト:床板30mm+梁追加+積載荷重+壁	120	50	400	50			620	620																																																																																																																											
4 太陽熱温水器(一般的に4~5㎡)							1000	1000																																																																																																																											
5 軒天					50	50	110	110																																																																																																																											
6 屋外の梁組		270					270	270																																																																																																																											
7																																																																																																																																			
23	記号と固定荷重表(部材)の 関係H2の部分	■III床+ <u>+</u> ■VI内壁(2階下半分)+■VI内壁(1階上半分)+IX積載荷重	■III床+■VI内壁(2階下半分)+■VI内壁(1階上半分)+IX積載荷重																																																																																																																																
	記号と固定荷重表(部材)の 関係H2!の部分	■III床+ <u>+</u> ■VI内壁(2階下半分)+■VI内壁(<u>2</u> 階上半分)+IX積載荷重	■III床+■VI内壁(2階下半分)+■VI内壁(<u>1</u> 階上半分)+IX積載荷重																																																																																																																																
	記号と固定荷重表(部材)の 関係D1!の部分	■VIII1階床+■VI内壁(<u>2</u> 階下半分)+IX積載荷重	■VIII1階床+■VI内壁(<u>1</u> 階下半分)+IX積載荷重																																																																																																																																
26 28	ヤング係数E	スギ <u>700kN/cm²</u> 、ヒノキ <u>900kN/cm²</u>	スギ <u>7.0kN/mm²</u> 、ヒノキ <u>9.0kN/mm²</u>																																																																																																																																
31	ヤング係数E	スギ <u>700kN/cm²</u>	スギ <u>7.0kN/mm²</u>																																																																																																																																
35	ヤング係数E	スギ <u>700kN/cm²</u>	スギ <u>7.0kN/mm²</u>																																																																																																																																
37	5(1)重い屋根	Pw=- <u>1153N/㎡</u> (庇吹上)	Pw=- <u>1363N/㎡</u> (庇吹上)																																																																																																																																

37	(1)-2 表	<p>(1)-2 垂木 (軒先部) スパン表</p> <table border="1" data-bbox="589 209 1279 496"> <thead> <tr> <th>出寸法 mm 間隔</th> <th>1000</th> <th>1300</th> <th>1600</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>@328</td> <td>A (イ)</td> <td><u>C (イ)</u></td> <td>D (イ)</td> </tr> <tr> <td>@394</td> <td>A (イ)</td> <td><u>C (イ)</u></td> <td>E (イ)</td> </tr> <tr> <td>@492</td> <td>A (イ)</td> <td><u>D (イ)</u></td> <td>F (イ)</td> </tr> </tbody> </table>	出寸法 mm 間隔	1000	1300	1600	@328	A (イ)	<u>C (イ)</u>	D (イ)	@394	A (イ)	<u>C (イ)</u>	E (イ)	@492	A (イ)	<u>D (イ)</u>	F (イ)	<p>(1)-2 垂木 (軒先部) スパン表</p> <table border="1" data-bbox="1417 209 2107 496"> <thead> <tr> <th>出寸法 mm 間隔</th> <th>1000</th> <th>1300</th> <th>1600</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>@328</td> <td>A (イ)</td> <td><u>B (イ)</u></td> <td>D (イ)</td> </tr> <tr> <td>@394</td> <td>A (イ)</td> <td><u>B (イ)</u></td> <td>E (口)</td> </tr> <tr> <td>@492</td> <td>A (イ)</td> <td><u>C (口)</u></td> <td>F (口)</td> </tr> </tbody> </table>	出寸法 mm 間隔	1000	1300	1600	@328	A (イ)	<u>B (イ)</u>	D (イ)	@394	A (イ)	<u>B (イ)</u>	E (口)	@492	A (イ)	<u>C (口)</u>	F (口)
出寸法 mm 間隔	1000	1300	1600																																
@328	A (イ)	<u>C (イ)</u>	D (イ)																																
@394	A (イ)	<u>C (イ)</u>	E (イ)																																
@492	A (イ)	<u>D (イ)</u>	F (イ)																																
出寸法 mm 間隔	1000	1300	1600																																
@328	A (イ)	<u>B (イ)</u>	D (イ)																																
@394	A (イ)	<u>B (イ)</u>	E (口)																																
@492	A (イ)	<u>C (口)</u>	F (口)																																
38	(2)軽い屋根	Pw=- <u>1624</u> N/m ² (底吹上)	Pw=- <u>1834</u> N/m ² (底吹上)																																
38	(2)-2 表	<p>(2)-2 垂木 (軒先部) スパン表</p> <table border="1" data-bbox="589 619 1234 895"> <thead> <tr> <th>出寸法 mm 間隔</th> <th>1000</th> <th>1300</th> <th>1600</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>@328</td> <td>A (イ)</td> <td><u>C (イ)</u></td> <td>D (イ)</td> </tr> <tr> <td>@394</td> <td>A (イ)</td> <td>C (イ)</td> <td><u>D (口)</u></td> </tr> <tr> <td>@492</td> <td>B (イ)</td> <td><u>D (口)</u></td> <td>E (口)</td> </tr> </tbody> </table>	出寸法 mm 間隔	1000	1300	1600	@328	A (イ)	<u>C (イ)</u>	D (イ)	@394	A (イ)	C (イ)	<u>D (口)</u>	@492	B (イ)	<u>D (口)</u>	E (口)	<p>(2)-2 垂木 (軒先部) スパン表</p> <table border="1" data-bbox="1417 619 2045 895"> <thead> <tr> <th>出寸法 mm 間隔</th> <th>1000</th> <th>1300</th> <th>1600</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>@328</td> <td>A (口)</td> <td><u>B (口)</u></td> <td>D (ハ)</td> </tr> <tr> <td>@394</td> <td>A (口)</td> <td>C (ハ)</td> <td><u>E (ハ)</u></td> </tr> <tr> <td>@492</td> <td>B (ハ)</td> <td><u>C (ハ)</u></td> <td>E (ハ)</td> </tr> </tbody> </table>	出寸法 mm 間隔	1000	1300	1600	@328	A (口)	<u>B (口)</u>	D (ハ)	@394	A (口)	C (ハ)	<u>E (ハ)</u>	@492	B (ハ)	<u>C (ハ)</u>	E (ハ)
出寸法 mm 間隔	1000	1300	1600																																
@328	A (イ)	<u>C (イ)</u>	D (イ)																																
@394	A (イ)	C (イ)	<u>D (口)</u>																																
@492	B (イ)	<u>D (口)</u>	E (口)																																
出寸法 mm 間隔	1000	1300	1600																																
@328	A (口)	<u>B (口)</u>	D (ハ)																																
@394	A (口)	C (ハ)	<u>E (ハ)</u>																																
@492	B (ハ)	<u>C (ハ)</u>	E (ハ)																																
38	設計条件 箱の中	断面 「D:55mm×115mm」の次に、右を加える。	<u>E:70mm×115mm</u> <u>F:85mm×115mm</u>																																
39	3風荷重 (Pw)	「軒高 7m以下」の次に、右を加える。	<u>最高の高さ 10m以下</u>																																
39	(底面風圧係数) (外圧係数・内圧係数)	<p>(底面風圧係数)</p> <p>1) 4.5/10勾配 Cf = CPe - CPi = <u>-0.46</u> (屋根正) = <u>-1.10</u> (屋根負)</p> <p>2) 2.0/10勾配 Cf = CPe - CPi = <u>-0.59</u> (屋根正) = <u>-1.55</u> (屋根負)</p> <p>(外圧係数・内圧係数)</p> <p>1) 4.5/10勾配 正 { CPe = 0.14 CPi = <u>0.6</u></p> <p>負 { CPe = -0.5 CPi = <u>0.6</u></p> <p>2) 2.0/10勾配 正 { CPe = 0.01 CPi = <u>0.6</u></p> <p>負 { CPe = -0.95 CPi = <u>0.6</u></p>	<p>(底面風圧係数)</p> <p>1) 4.5/10勾配 Cf = CPe① + CPe② = <u>-0.66</u> (屋根正) = <u>-1.30</u> (屋根負)</p> <p>2) 2.0/10勾配 Cf = CPe① + CPe② = <u>-0.79</u> (屋根正) = <u>-1.75</u> (屋根負)</p> <p>(外圧係数・内圧係数)</p> <p>1) 4.5/10勾配 正 { CPe① = 0.14 CPe② = <u>-0.8</u></p> <p>負 { CPe① = -0.5 CPe② = <u>-0.8</u></p> <p>2) 2.0/10勾配 正 { CPe① = 0.01 CPe② = <u>-0.8</u></p> <p>負 { CPe① = -0.95 CPe② = <u>-0.8</u></p>																																

40 (1) 表

(1) 重い屋根 : $w=740 \text{ N/m}^2$ (勾配補正811 N/m^2) $P_w=-1153 \text{ N/m}^2$ (吹上)

梁間 (mm)	桁行 (mm) 柱位置 軒の出 (mm)	1970		2955		3940	
		端部	中間	端部	中間	端部	中間
		985	1000	A (い)	—	A (い)	—
	1300	A (い)	—	A (い)	—	A (ろ)	—
	1600	A (い)	—	A (ろ)	—	A (ろ)	—
1477.5	1000	A (い)	—	A (い)	—	A (ろ)	—
	1300	A (い)	—	A (ろ)	—	A (ろ)	—
	1600	A (い)	—	A (ろ)	—	A (ろ)	—
1970	1000	A (い)	—	A (ろ)	—	A (ろ)	—
	1300	A (い)	—	A (ろ)	—	A (ろ)	—
	1600	A (い)	—	A (ろ)	—	A (ろ)	—

(接合部材等)
A : 込栓18×18
B : 込栓18×18
C : 込栓+羽子板金物

(1) 重い屋根 : $w=740 \text{ N/m}^2$ (勾配補正811 N/m^2) $P_w=-1363 \text{ N/m}^2$ (吹上)

梁間 (mm)	桁行 (mm) 柱位置 軒の出 (mm)	1970		2955		3940	
		端部	中間	端部	中間	端部	中間
		985	1000	A (ろ)	—	A (ろ)	—
	1300	A (ろ)	—	A (は)	—	A (は)	—
	1600	A (ろ)	—	A (は)	—	A (は)	—
1477.5	1000	A (ろ)	—	A (は)	—	A (は)	—
	1300	A (ろ)	—	A (は)	—	A (は)	—
	1600	A (ろ)	—	A (は)	—	A (は)	—
1970	1000	A (ろ)	—	A (は)	—	A (は)	—
	1300	A (ろ)	—	A (は)	—	A (は)	—
	1600	A (ろ)	—	A (は)	—	A (は)	—

(接合部材等)
A : 込栓18×18 (柱120角)
B : 込栓18×18 (柱150角)
C : 込栓+羽子板金物 (柱120角)

41 (2) 表

(2) 軽い屋根 : $w=400 \text{ N/m}^2$ (勾配補正408 N/m^2) $P_w=-1624 \text{ N/m}^2$ (吹上)

梁間 (mm)	桁行 (mm) 柱位置 軒の出 (mm)	1970		2955		3940	
		端部	中間	端部	中間	端部	中間
		985	1000	A (は)	A (ろ)	B (に)	A (は)
	1300	A (に)	A (は)	B (ほ)	A (は)	B (へ)	A (に)
	1600	B (に)	A (は)	B (ほ)	A (は)	C (へ)	A (に)
1477.5	1000	A (に)	A (は)	B (に)	A (は)	B (ほ)	A (に)
	1300	B (に)	A (は)	B (ほ)	A (は)	C (へ)	A (に)
	1600	B (に)	A (は)	B (へ)	A (は)	C (へ)	B (に)
1970	1000	B (に)	A (は)	B (ほ)	A (は)	C (へ)	A (に)
	1300	B (に)	A (は)	B (ほ)	A (は)	C (へ)	B (に)
	1600	B (に)	A (は)	C (へ)	A (に)	C (へ)	B (に)

(接合部材等)
A : 込栓18×18
B : 込栓18×18
C : 込栓+羽子板金物

(2) 軽い屋根 : $w=400 \text{ N/m}^2$ (勾配補正408 N/m^2) $P_w=-1834 \text{ N/m}^2$ (吹上)

梁間 (mm)	桁行 (mm) 柱位置 軒の出 (mm)	1970		2955		3940	
		端部	中間	端部	中間	端部	中間
		985	1000	A (に)	A (は)	B (に)	A (は)
	1300	B (に)	A (は)	B (ほ)	A (は)	C (へ)	B (に)
	1600	B (に)	A (は)	B (へ)	A (に)	C (へ)	B (に)
1477.5	1000	B (に)	A (は)	B (ほ)	A (は)	C (へ)	B (に)
	1300	B (に)	A (は)	B (へ)	A (に)	C (へ)	B (に)
	1600	B (ほ)	A (は)	C (へ)	A (に)	C (と)	B (に)
1970	1000	B (に)	A (は)	B (へ)	A (に)	C (へ)	B (に)
	1300	B (に)	A (は)	C (へ)	B (に)	C (と)	B (に)
	1600	B (ほ)	A (は)	C (へ)	B (に)	C (と)	B (ほ)

(接合部材等)
A : 込栓18×18 (柱120角)
B : 込栓18×18 (柱150角)
C : 込栓+羽子板金物 (柱120角)

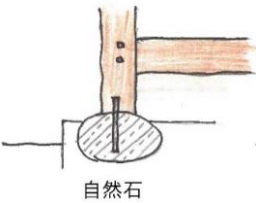
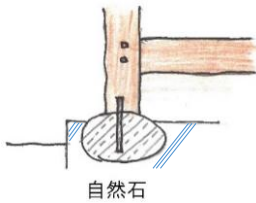
41 5 吹上荷重

$P_w=C_f \times q = 1.10 \times 1048 \text{ N/m}^2 = 1153 \text{ N/m}^2$
 $P_w=C_f \times q = 1.55 \times 1048 \text{ N/m}^2 = 1624 \text{ N/m}^2$

45 1) [III]+[IV-1軽]×2
 45 2) [III]+[IV-1重]×2
 45 3) [I軽]+[II-2]
 45 4) [I重]+[II-2]
 45 5) [I軽]+[II-2]+[VI-VI-2軽]
 45 6) [I重]+[II-2]+[VI-VI-2重]
 45 7) V-6
 45 8) V-19
 46 11) IV軽×2

$P_w=C_f \times q = 1.30 \times 1048 \text{ N/m}^2 = 1363 \text{ N/m}^2$
 $P_w=C_f \times q = 1.75 \times 1048 \text{ N/m}^2 = 1834 \text{ N/m}^2$

[III-6]+[VI-1-3]×2=490+240×2
 [III-6]+[VI-1-6]×2=490+400×2
 [I-4]+[II-2]=460+560
 [I-6]+[II-2]=870+560
 [I-4]+[II-2]+[VI-2-3]-[VI-1-3]=460+560+420-240
 [I-6]+[II-2]+[VI-2-6]-[VI-1-6]=870+560+710-400
 [V-1-6]
 [V-1-19]
 [IV-3]×2

171	図2.12中	限界耐力計算用階高	限界耐力計算用階高※
173	⑥応答変位の算定 ⑨設計クライテリアの チェック	稀に <u>起こる</u>	稀に <u>発生する</u>
173	⑥応答変位の算定 ⑨設計クライテリアの チェック	極めて <u>希に起こる</u>	極めて <u>希に発生する</u>
182	2 地表面粗度区分と各地域 の風速の表Ⅱ、Ⅲ	地表面 <u>粗度</u> 区分 (3か所)	地表面 <u>粗度</u> 区分 (3か所)
187	図2.25中 一番左の図	 自然石	 自然石
190	表2.11 7ヤング係数	杉：7kN/m㎡、 <u>桧</u> ：9kN/m㎡	杉：7kN/m㎡、 <u>桧</u> ：9kN/m㎡
192	【解説】	1 伝統構法の <u>接手</u> と仕口について	1 伝統構法の <u>継手</u> と仕口について
194	4②イ	<u>イ</u> スパン表を使用する場合は、 <u>蟻掛けの受梁は、断面欠損が大きいので採用しないこと。</u>	削除
198	表2.15 垂木寸法	<u>40mm×80mm、40mm×100mm、40mm×115mm、55mm×115mm</u>	<u>40mm×85mm、40mm×100mm、40mm×115mm、55mm×115mm、70mm×115mm、85mm×115mm</u>
198	表2.15 固定荷重	<u>瓦</u>	<u>重い屋根（瓦）</u>
198	表2.15 固定荷重	<u>鋼板</u> 292N/m ²	<u>軽い屋根（鋼板、スレート）</u> 400N/m ²
198	表2.15 固定荷重	<u>スレート</u> 392N/m ²	削除
199	(2)浅瓦の施工要領	<u>浅瓦</u> (3か所)	<u>棧瓦</u>
199 200	(2)浅瓦の施行要領～(5)棟 部の施行要領	<u>繋結線</u> (4か所)	<u>繋結線</u>
224 303	様式番号	<u>第四号の二書式</u>	・ <u>第四号書式</u>